

九条はらまち

福島県南相馬市「はらまち九条の会」No.231

2013(平成25)年12月13日(金)発行

よい年と!

■今日、1937(昭和12)年12月13日は南京大虐殺の日ですが、ほとんど報道はありません。

「リメンバー12.6」・次は「特定秘密保護法」廃案の運動を!

●<左>は12月6日夜、「特定秘密保護法」廃案のための東京日比谷公園大集会、そして日比谷から国会議事堂への抗議デモの写真です。神奈川県にいたので「はらまち九条の会」を勝手に代表したつもりで、この15,000人のデモに参加。自由法曹団や出版労連の後について歩きました。「デモはデモと同じ」と石破幹事長も発言しましたが、弁護士さんに守られているデモという感じで、国会前も大変な盛り上がりでした●これだけの抗議や反対の声が日本中で起こっていても、全く無視する現政権●ついに午後11時24分、「法案」は参院でも強行採決で成立●福島県選出の森雅子議員、福島県出身の佐藤正久議員が喜々として大活躍ですが、被災に苦しむ福島県民として苦々しく、空しい思いで見えています。(事務局・山崎)

▲2013年12月6日午後7時東京・日比谷公園で。参加者は本当に怒っていました。



新成人にも「憲法」の大切さ、憲法改悪の怖さを伝えよう

来年1月の南相馬市成人式、『憲法・小冊子』の配布

あなたも一緒に「憲法」を手渡ししませんか!

■「はらまち九条の会」では、毎年1月、市の成人式会場「市民会館(ゆめはっと)」前で、新成人の一人一人に「憲法・小冊子」(復刻版)を手渡しています。

■「憲法・小冊子」は憲法全文を掲載し、1971年に旧原町市が市費で発行し全世帯に配布した「復刻版」です。

■成人式は1月12日(日)。受付開始の正午から式開会の午後1時ごろまで、手渡しを行います。

■事務局員と一緒に配布ご希望の方は、事務局井上(TEL0244-22-7511)にお申し出下さい。

昨年の「憲法」配布
「福島民報」より



▼11月24日『福島民報』朝倉悠三さんの連載より



もっと福島の声を開いて!!
相双地区の現地をしっかりと見て下さい!!

こんなに深刻な原発事故を引き起こしても、まだ再稼働、新規建設、原発の輸出の現政権。事故から何にも学んでいません。まさに狂気です。

そして小泉元首相! どうして首相の時に「脱原発」を推進しなかったのですか。アメリカの「軛(くびき)」がなくなったからですか?



鹿島区南右田海岸にも「奇跡の一本松」が立派に生き残りました

○南相馬市鹿島区南右田地区は、大津波で全70世帯が流失し54人が犠牲になりました。海岸の数万本の松林も流されましたが、陸前高田市の一本松と違い、枝葉も青々とした「奇跡の一本松」が立派に生き残っています。○九月には行政区長五賀和雄さんを中心に「守る会」が発足し、案内の看板も建てられ、遠くから訪れる人も増えているそうです。「一本松」に見ならい、私たちも元気を出しましょう。



《会員の皆様からの

お手紙》

○全国各地の「はらまち九条の会」会員から、続々とお便りが届いています！

■「いつも事務局の皆様、お世話様です。昨年入会した福島市の会員ですが、現在原発の訴訟でも活動しています。毎月送られてくる会報が勉強になるので、同じ訴訟団の人たちにも、毎号をコンビニでA3の大きさにコピーして配布し、読んでもらっています。」（福島市・60代・男性）

教に物言わせてやりたい放題の現政権

■「暑い夏が終わったと思うと、冬が駆け足でやって来て、昨日（11月13日）は仙台でも初雪が舞いました。付近の山も初冠雪で白くなっています。

教に物言わせてやりたい放題、現政権には全く腹が立ちます。憲法改悪、戦争を知らない若者達が、戦場に送られることも知らず投票した結果とはいえ、残念です。自民党の内部崩壊を待つしかないのか。その意味で小泉元総理の脱原発宣言は注目したいと思います。」（仙台市・70代・男性）

小高の我が家に帰れず、田畑も荒れ放題

■「私はあの震災の前日の3月10日に「はらまち九条の会」に入会しました。しかし、原発事故のため小高区から妻と広島県に避難し、高齢の私はどうにか歩き、妻は元気にチラシまきの活動などで仲良しもふえ、こちらでも畑を借りてよくやっています。広島の友達もみな親切な人が多いです。

小高の我が家へは当分帰れる見込みがなく、解体撤去も遅れそう、田畑は荒れ放題です。正月は家族で集まる予定をたてています。



いつもの会報や資料などありがとうございます。またいに読んでいます。」（東広島市・80代・男性）

■「会費を送ります。大変な時代になりつつある今の社会状況、少しでも押し戻せるよう、力を尽くして行きたいと思います。」（福島市・50代・男性）

《事務局より》

会費納入ありがとうございます カンパもお待ちしています！

連日、「郵便為替」や「直接の手渡し」「郵送」などで次々年会費が納入され、ご理解をいただき、本当にありがとうございます。またカンパもたくさんの方々から寄せられ、有難く心より感謝申し上げます。事務局員一同さらに気を引き締めています。（会計・井上）

◆これほどの国民の反対の声を無視して、12月6日夜、自民党は強行採決で「特定秘密保護法」を成立させました。無知や無関心な人々の「いいんじゃない！」という「聖なる単純さ」の結果です。廃棄まで諦めることはできません。

《「はらまち九条の会」事務局連絡先》

○会長：平田慶肇 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TEL0244-22-0326
○事務局長：山崎健一（神奈川県に避難中） TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com
○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
○番場恵子 TEL0244-22-0715 ○ホームページ担当：大浦祥見 TE0244-24-0704



■「福島県選出の森雅子参議院議員に福島県民としてやりきれない思いでいる。本来は消費者・少子化担当相の森議員が、なぜ特定秘密保護法案の担当大臣なのか。しどろもどろの答弁で目も死んでます。なぜ福島県民は原発の一番の被害者なのに、参院選で原発推進の森議員を当選させたのかと、他県民が揶揄する新聞投書もありました。福島県出身の「髭の隊長」佐藤正久議員も議長のガードマンに成り下がり情けない。原発の情報もさらに隠蔽される法律なのに。いまだに長州（山口・安倍首相）の会津（福島）への仕置きなのか。」（南相馬市・60代・男性）

避難先の秋田から郡山市に戻りました

■「3.11の大津波で鹿島区の自宅は流失し、私・妻・84歳の義母は、私の故郷の秋田県に避難しておりました。それから2年6ヶ月、未だ収束まなぬ人災の原発事故ですが、長男夫婦に待望の初孫誕生を機に、郡山市に住まいを求め、家族バラバラ状態を解消することになりました。」（郡山市・60代・男性）

「根本さんの震災体験」が石川町のミニ新聞にも掲載

■「私は仙台市民の会員ですが、福島県石川町の家にも時折住んでいます。会報227号の「根本智夫さんの震災体験」で、原発事故で広野町から避難の際、石川町への感謝が述べられておりましたので、お許しも頂かないまま、石川町のミニ新聞に送ってしまいました。すると早速『町民ニュース』11月22日号に掲載され、石川町でも話題になっているそうですので、送らせていただきます。」（仙台市・80代・女性）

■「秘密保護法…何たる暴挙。戦慄が走るほどの怒りです。署名や鎌倉駅頭でのシール投票などで、多くの人が反対しているのに。1万人が集まった21日の日比谷全国集会にも参加しました。デモに私は行ける限り行こうと思っています。カンパも送ります。お元気で。」（鎌倉市鎌倉九条の会員・60代・女性）
○無断で勝手に掲載いたしました！お許しください。

「どうして福島の人はずっと声を出さないの」

◆避難先の関西で、60回以上の講演会で被災を訴える会員夫妻や、被災地の南相馬市の案内に懸命に努めている会員もたくさんおられます。

私個人も11月30日は京都で、12月1日には神戸の九条の会で、『南相馬市や福島県の震災の窮状』をお話しました。でも、「どうして福島の人はずっと声を出さないの？」という意見も出て、東北人と積極的な関西人の違いを実感してきました。（山崎）

◆今年2013年もあと数日。政治も社会もメチャクチャな状況ですが、「絶望の隣は希望です」。来年こそ、良いことが重なりますように！